

# 平成 29 年度 財務レポート



公立大学法人 山陽小野田市立  
山口東京理科大学

# 理事長あいさつ



公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学は、工学部「機械工学科」、「電気工学科」、「応用化学科」の3学科により、『理学の普及を以て国運発展の基礎とする』を建学の精神として掲げ、地方都市における落ち着いた教育環境のもと、学校法人東京理科大学との姉妹校関係を維持強化しつつ、理工系の基礎的知識と専門的な学術を教育・研究するとともに、地域に根差し、地域社会の発展に寄与する「地域のキーパーソン」の育成に貢献することを目的としています。

また、皆さまのお陰により平成30年4月には、山口県において長年にわたり大変期待されておりました薬学部が開設し、地域に愛される公立薬工系大学とします。ますます発展してまいりたいと願っております。

そのために教職員が一丸となって、戦略的かつ革新的な大学運営に努め、強固な財政基盤の構築を図るとともに、コンプライアンスを徹底することで、本学のステークホルダーである学生、御父母、市民の期待と信頼に応え、選ばれる大学づくりを進めています。

平成29年度の財務レポートをまとめましたのでご報告致します。

皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

公立大学法人山陽小野田市立  
山口東京理科大学  
理事長 池北 雅彦

## 目次

理事長あいさつ	1
決算総括	2
貸借対照表	3
損益計算書	4
キャッシュ・フロー計算書	5
行政サービス実施コスト計算書	6
決算報告書	7
平成29年度の主な取り組み	
教育に関する取り組み	8
研究に関する取り組み	9
地域貢献に関する取り組み	10

# 決算総括

平成 29 年度決算については、法人全体として 648,386 千円の当期総利益を計上しました。収入については、学生等納付金収入の増加に加え、志願者の増加による入学検定料の増加、受託研究費等の外部資金獲得額の増加等により、収入合計で当初予算比 49,056 千円の増加となりました。支出については、学生募集経費をはじめとする一般管理費の効率的な執行や、新設校舎の建設計画変更に伴う購入備品の見直し等により、支出合計で当初予算比 618,132 千円の減少となりました。

## 財務諸表相関図

貸借対照表 (P.3)

資産	固定資産	固定負債	負債
		流動負債	
	流動資産	資本金	純資産
		資本剰余金	
		目的積立金	
現預金	当期未処分利益 (当期総利益)		

利益処分に関する書類 (P.4)

当期未処分利益 (当期総利益)
利益処分額 目的積立金 (積立額)

キャッシュ・フロー計算書 (P.5)

業務活動	(支出)	業務活動 (収入)
財務活動	(支出)	
投資活動	(支出)	
資金期末残高 (一部)		財務活動 (収入)
		投資活動 (収入)

損益計算書 (P.4)

経常費用	業務費	運営費交付金収益	経常収益
		自己収入等	
	一般管理費	臨時損失	臨時利益
	当期総利益	当期総利益	目的積立金取崩額

行政サービス実施コスト計算書 (P.6)

損益計算上の費用	経常費用	(控除) 自己収入等
		(差引) 業務費用
	臨時損失	機会費用

行政サービス実施コスト

損益外減価償却相当額  
引当外退職給付増加見積額 等

# 貸借対照表

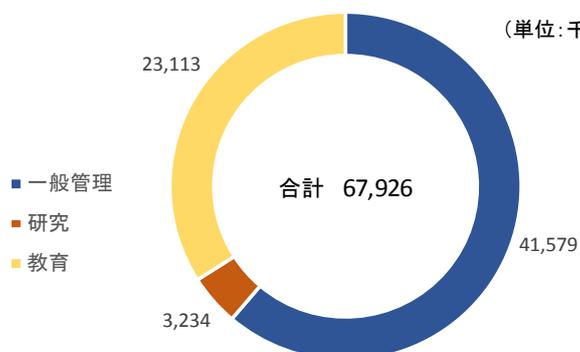
貸借対照表は、決算日（平成30年3月31日）時点における資産・負債・純資産を表示した、財政状態を明らかにするための報告書です。貸借対照表の負債・純資産はどのようにして資本を調達したかを表し、資産は調達した資本をどのように使用しているのかを表します。

(単位:千円)

区分		平成29年度 開始時	平成29年度 期末時	区分		平成29年度 開始時	平成29年度 期末時
資産の部	土地	756,000	756,000	負債の部	資産見返負債	729,875	800,844
	建物	2,931,508	2,773,339		長期リース債務	9,810	10,675
	構築物	19,696	28,455		固定負債合計 ④	739,685	811,519
	車両運搬具	3,796	3,124		運営費交付金債務	50	50
	工具器具備品	283,017	301,598		授業料債務	0	0
	工具器具備品(リース)	0	4,608		寄附金債務	7,570	5,321
	図書	238,979	272,368		前受受託研究費等	0	0
	有形固定資産合計	4,232,996	4,139,492		未払金	101,871	361,076
	ソフトウェア	105,415	107,850		未払消費税等	2,495	47
	ソフトウェア仮勘定	13,014	0		リース債務	2,452	3,558
	特許権仮勘定	0	653		前受金	273	894
	無形固定資産合計	118,429	108,503		預り科学研究費補助金	1,027	2,980
	長期前払費用	3,068	14,630		預り金	9,759	13,216
	投資その他の資産合計	3,068	14,630		流動負債合計 ⑤	125,497	387,142
固定資産合計 ①	4,354,493	4,262,625	負債合計 ⑥(④+⑤)	865,182	1,198,661		
資産の部	現金及び預金	226,889	1,111,161	純資産の部	資本金(地方公共団体出資金)	3,785,842	3,785,842
	その他未収入金	10,231	2,629		資本剰余金(損益外減価償却累計額(▲))	▲ 176,549	▲ 353,099
	前払費用	17,990	38,503		利益剰余金	135,128	783,514
	流動資産合計 ②	255,110	1,152,293		純資産合計 ⑦	3,744,421	4,216,257
資産合計 ③(①+②)	4,609,603	5,414,918	負債・純資産合計 ⑧(⑥+⑦)	4,609,603	5,414,918		

工具器具備品目的別内訳

(単位:千円)



平成29年度に取得した工具器具備品の目的別の内訳です。取得価額を表し、減価償却前の金額を記載しています。

# 損益計算書

(単位:千円)

区分		平成29年度
経常費用	教育経費	185,226
	研究経費	90,130
	教育研究支援経費	40,287
	受託研究費	29,671
	人件費	727,720
	業務費合計	1,073,034
	一般管理費	492,255
	雑損	249
経常費用合計①		1,565,538
経常収益	運営費交付金収益	1,433,606
	授業料収益等	629,207
	受託研究等収益	30,399
	補助金等収益	17,379
	寄附金収益	9,513
	資産見返負債戻入	79,510
	財務収益	4
	雑益	14,306
経常収益合計②		2,213,924
経常利益③(②-①)		648,386

損益計算書は、ある一定期間（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の業務活動の成果を表した報告書です。経営の理念に基づいてサービスを社会に提供し、満足していただいた活動の結果を利益（又は損失）として計算したものです。

## 人件費内訳

役員人件費 : 25,923千円  
 教員人件費 : 490,492千円  
 職員人件費 : 211,305千円

## 授業料収益等内訳

授業料収益 : 470,732千円  
 入学金収益 : 91,791千円  
 検定料収益 : 66,222千円  
 手数料収益 : 462千円

臨時利益④	2,012
臨時損失⑤	2,012
当期純利益⑥(③+④-⑤)	648,386
当期総利益⑦	648,386

## 利益処分に関する書類（要約）

(単位:千円)

当期末処分利益	
当期総利益	648,386

(単位:千円)

利益処分額	
積立金	32,255
教育研究の質の向上及び施設準備積立金	616,131

地方独立行政法人法第40条第3項により、設立団体(山陽小野田市)の長の承認を受ける必要がある金額です。経営努力によって得られた利益として、次年度以降に利用可能な積立金となります。

# キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区分		平成29年度
支出	原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 211,326
	人件費支出	▲ 738,049
	その他の業務支出	▲ 321,633
収入	運営費交付金収入	1,545,085
	授業料等収入	658,949
	受託研究費等収入	11,778
	補助金等収入	17,379
	寄附金収入	7,630
	その他の収入	23,005
	預り金の純増減額	5,410
業務活動によるキャッシュ・フロー合計 ①		998,228
支出	固定資産の取得による支出	▲ 110,402
収入	利息および配当金の受取額	4
投資活動によるキャッシュ・フロー合計 ②		▲ 110,398
支出	ファイナンス・リース債務の返済による支出	▲ 3,558
財務活動によるキャッシュ・フロー ③		▲ 3,558
資金増加額 ④(①+②+③)		884,272
資金期首残高 ⑤		226,889
資金期末残高 ⑥(④+⑤)		1,111,161

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間の収入（キャッシュ・イン）と支出（キャッシュ・アウト）を捉え、キャッシュの流れを計算して表示する報告書です。

## 資金運用について

当法人は、資金運用については地方独立行政法人法第43条の規定に基づき、預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定しております。資金運用の当たっては、現状では預金により運用しております。

## ファイナンス・リース

①ソフトウェア 14,715千円  
(平成28年から6年契約  
年間 2,452千円の支出)

②工具器具備品 5,530千円  
(平成29年から5年契約  
年間 1,106千円の支出)

# 行政サービス実施コスト計算書

行政サービス実施コスト計算書は、本法人が業務を運営するにあたって、市民のみなさまに負担いただいているコストを表す報告書です。業務費用に加えて、機会費用等（山陽小野田市の資産等を利用したことによる市民のみなさまにとっての負担額など）を加算したのから、業務運営により得られた自己収入等を控除して算出しています。

区分		平成29年度
業務費用	業務費	1,073,034
	一般管理費	492,255
	雑損	249
	臨時損失	2,012
	損益計算上の費用合計①	1,567,550
	授業料等収益	▲ 629,207
	受託研究等収益	▲ 30,399
	寄附金収益	▲ 9,513
	資産見返運営費交付金等戻入	▲ 5,818
	資産見返寄附金戻入	▲ 38,211
	雑益・臨時利益等	▲ 12,386
	(控除)自己収入等合計②	▲ 725,534
業務費用合計③(①+②)	842,016	
損益外減価償却等相当額④	176,549	
引当外賞与増加見積額⑤	17,054	
引当外退職給付増加見積額⑥	12,114	
機会費用	国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用	31,766
	地方公共団体出資の機会費用	1,584
	機会費用合計⑦	33,350
行政サービス実施コスト(③+④+⑤+⑥+⑦)		1,081,083

費用	機会費用 損益外のコスト
自己収入	行政サービス実施コスト

## 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計上方法

山陽小野田市行政財産使用料徴収条例に基づき計算しております。

(2) 地方公共団体出資の機会費用の計上方法

日本相互証券が公表する第350回国債の平成30年3月30日利回り終値を参考に、0.045%で計算しております。

# 決算報告書

第2期(平成29年度)

(単位:千円)

区分		予算額	決算額	差額 (決算-予算)
収入	運営費交付金収入	1,545,085	1,545,085	0
	補助金収入	870	21,936	21,066
	学生等納付金収入	655,871	659,411	3,540
	財務収入	2	4	2
	雑収入	10,832	10,370	▲ 462
	受託研究費等収入	13,119	30,399	17,280
	寄附金収入	0	7,630	7,630
	目的積立金取崩額	0	0	0
収入合計①		2,225,779	2,274,835	49,056
支出	教育経費	205,826	208,981	3,155
	研究経費	52,582	67,511	14,929
	教育研究支援経費	114,452	87,270	▲ 27,182
	受託研究費等	13,119	30,399	17,280
	寄附金	0	9,878	9,878
	人件費	706,085	710,059	3,974
	一般管理費	1,123,715	542,605	▲ 581,110
	予備費	10,000	0	▲ 10,000
支出合計②		2,225,779	1,656,703	▲ 569,076
収入-支出 (①-②)		0	618,132	618,132

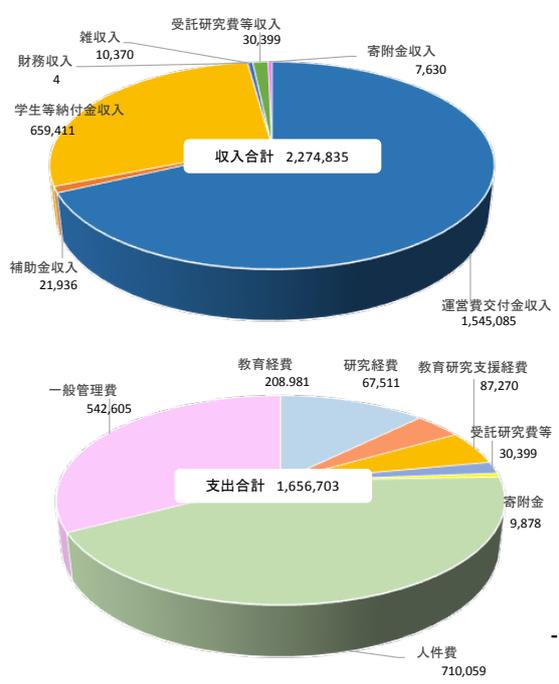
検定料収入の増加

外部資金獲得額の増加

外部資金獲得額の増加に伴い、研究費の支出も増加

校舎建設計画変更に伴い、書籍及び外国雑誌のタイトル精査により減少

1、校舎建設計画変更に伴う備品の整備計画を変更により減少  
2、大学運営管理費を節減



本学の収入には、①市等からの収入（運営費交付金など）、②自己収入（学生等納付金、補助金、受託研究費、寄附金など）、③その他の収入（財務収入など）があります。

中でも、自己収入は大学の経営努力によって大きく変動します。本学では、外部資金獲得に向けた取り組みなどを通して、さらなる自己収入の増加を目指しています。

# 平成29年度の主な取り組み

## 教育に関する取り組み

### 薬学部の設置認可

平成30年4月の開設を目指し文部科学省に設置認可申請をしておりました薬学部について、文部科学大臣から、平成29年8月29日付けで設置が認可されました。

薬学部では「薬学をととして人の健康を守る」という理念の下、優秀な薬剤師養成を目指します。平成30年4月からは、薬学と工学の2学部が同一キャンパスで共に学ぶ「公立薬工系大学」として、地域社会の発展に貢献いたします。



### 地域に貢献する人材を育成

地域を知り、地域と連携した実践科目として、「地域産業論」、「地域社会学」、「ボランティア活動」、「リーダーシップ論」、「卒業研究（地域課題編）」を開講。地域社会の発展に寄与する人材を育成しています。

また、平成29年度から、市内企業が抱えている技術的課題を提示いただき、学生がグループで把握・分析し、対策創出・提案を行うアクティブ・ラーニング科目「地域技術学」を開講しています。

### 6年連続全日本学生フォーミュラ大会に参戦

学生が自ら設計・製作したレーシングカーによりものづくりの総合力を競う「第15回全日本学生フォーミュラ大会」に、本学の学生フォーミュラチーム（TUSY Formula）が6年連続出場しました。

コストやデザインの審査を行う「静的審査」、実際にコースを走り、走行性能や耐久性を評価する「動的審査」などをクリアし、2年連続完遂、完走し、総合34位となりました！



### 魅力ある大学づくりに向けて



学生談話室「パルテール」

#### ① 志願者情報

平成30年度の入学者選抜試験において、入学定員工学部200人に対して2450人、薬学部120人に対して1,448人の志願者がありました。

#### ② 学生満足度

平成29年度山口東京理科大学大学生生活意識調査での設問「全体的にみて本学の学生生活に満足していますか」に対して、87%の学生より「とても満足している」、「まあ満足している」の回答をいただきました。

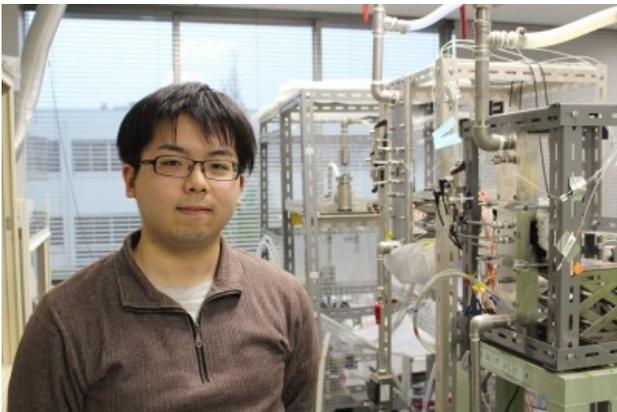
#### ③ 就職内定率

平成29年度の学部卒業者、修士課程修了者ともに、99%という高い就職率を達成することができました。

### 自動車技術会「大学院研究奨励賞」を受賞

本学学生が、公益社団法人 自動車技術会 「2016 年度 大学院研究奨励賞」を受賞しました。

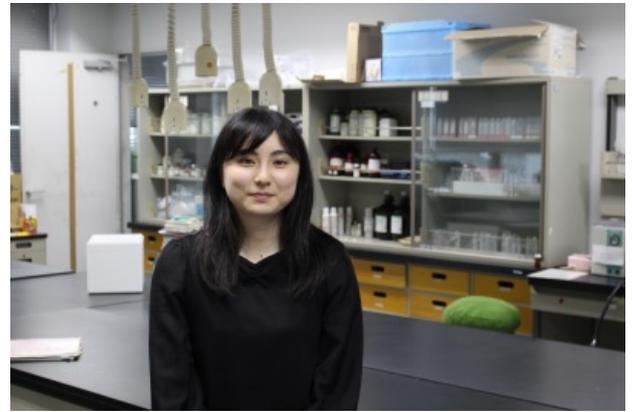
- 受賞者 工学研究科工学専攻修士課程2年 高井 貴生
- 指導教員 結城 和久 教授 [博士(工学)]
- 論文名 「一方向性ポーラス銅を用いた超高熱流束輸送デバイス EVAPORON-4 の伝熱評価」



### 日本化学会中国四国支部「支部長賞」を受賞

本学学生が、日本化学会 中国四国支部 「平成 28 年度 中国四国支部 支部長賞」を受賞しました。

- 受賞者 工学部 応用化学科4年 杉山 さつき
- 指導教員 石川 敏弘 教授 [工学博士]
- 論文名 「無機繊維の引張り強度の測定条件依存性に関する研究」



### 研究室公開・技術相談会を開催

平成 29 年 11 月、「研究室公開・技術相談会 2017」を開催しました。

これは、産学官の連携を強化するとともに、大学の研究成果を知的資源として還元し、地域産業の発展に寄与することを目的としたイベントです。本年度は、工学部機械工学科、電気工学科、応用化学科、共通教育センター及び薬学部設置準備室の 35 研究室がポスター展示、24 研究室が公開を行いました。



### 本学教員が The excellent work and award the AAT Poster Prize 2017 を受賞

本学教員が、2017 年 8 月 27 日～9 月 1 日に京都大学吉田キャンパスで開催された国際学会「International Union of Materials Research Societies - The 15th International Conference on Advanced Materials (IUMRS-ICAM 2017)」において、The excellent work and award the AAT Poster Prize 2017 を受賞しました。

- 受賞者 工学部 電気工学科 阿武研究室 助教 岡本 和也
- 共著者 工学部 電気工学科 教授 阿武 宏明



### 「薬学部シンポジウム～薬学部が街の未来を変える～」を開催

平成 29 年 12 月に本学地域連携センター主催「薬学部シンポジウム～薬学部が街の未来を変える～」を開催し、約 120 名が聴講されました。

第二部のパネルディスカッションでは、山陽小野田市長の藤田剛二氏が山陽小野田市の第二次総合計画における本学の位置づけや産学官連携による産業活性化について熱く訴えました。

会場の参加者からも意見を頂戴し、地元企業と産学連携活性化や、若者人口増加へ期待の声が上げられるなど、活発な意見交換が行われ議論を深めました。



### 復活！住吉まつりに参加

五月晴れのもと、今年も地元の祭り「復活！住吉まつり」が行われました。

太平洋セメント様保有の「龍」を本学の学生たちががざして路地を練り歩き、メインステージで舞う「龍舞」は、この祭りになくてはならないものとなりました。また、学生や教職員が科学の紹介を行うブースを設け、子供達や市民の皆さまに学びの成果を知っていただく好機となりました。



### かがく博覧会

地域貢献活動として、おのだサンパークを会場に山陽小野田市・山口東京理科大学連携協議会による「かがく博覧会」を開催し、延べ 3,780 人にご参加いただきました。

市内の小・中学生の科学作品や、高校、大学、企業による実験ブースなどが出展され、科学を学ぶ楽しさや感動を体験できるイベントとなりました。



かがく博覧会での体験コーナー

### 平成 29 年度「大学開放授業」修了証授与式

平成 30 年 2 月平成 29 年度「大学開放授業（後期）」の修了証授与式を開催しました。本学初の試みである今回の開放授業は、平成 29 年 9 月 25 日（月）～平成 30 年 2 月 9 日（金）の間、本学の学生が受けている授業の一部を地域の皆様へ公開するもので、5 名の方が聴講されました。

受講生からは「若い学生と一緒に大学の授業を聴講することができ、大変刺激を受けました。」との声が聞かれました。

